

再生可能エネルギーを活用した自律分散型公園実現可能性調査 業務委託仕様書（案）

本仕様書（案）は、公募型プロポーザルに際して発注者が想定している内容を示したものです。実際の業務委託に添付する仕様書は、提案内容を踏まえ、記載内容を見直します。

1 業務の目的

日立市の都市公園であるかみね公園は、令和5年3月に策定した「ひたちゼロカーボンシティビジョン」において、脱炭素化に向けた取組促進が期待できるエリアのひとつとして位置付けられており、地域の脱炭素化に向けた取組を推進することとしている。

本業務では、公共施設の電気エネルギーの脱炭素化を目指すために実施した、再生可能エネルギー設備の導入に関する調査結果を踏まえ、かみね公園の脱炭素化を図るための再生可能エネルギーによる電源供給・融通システムの導入可能性を調査する。

また、発電したエネルギーを効率的に活用しながら、新たな魅力創出による観光振興を推進するため、自家発電したエネルギーの有効活用による園内移動手段の導入可能性の調査も合わせて行う。

本業務は、再生可能エネルギーを活用した自律分散型公園に向けた事業の実現可能性や採算性など多角的に評価、検証することを目的とする。

2 業務概要

- (1) 業務名 再生可能エネルギーを活用した自律分散型公園実現可能性調査業務委託
- (2) 対象範囲 日立市かみね公園及び周辺にある公共公益施設を含む区域【別図参照】
- (3) 履行期間 業務委託契約の日から令和7年2月20日（木）まで
- (4) 委託料 12,479,500円（税込）を上限とする

3 業務内容

(1) 公園内施設への再生可能エネルギー設備の導入検討

過年度に実施した調査の結果から、公園内施設の電力設備の現状及び設置可能な太陽光発電設備の供給可能量の整理のほか、公園内で使用される電気エネルギー需要量の推計、さらには、電力の需給バランスを確保するために必要な発電設備（蓄電池を含む）の規模や導入手法など、再生可能エネルギーの導入可能性を検討する。

また、蓄電池を含めた発電設備の導入コストや維持管理費の算定など、経済性や実効性などの観点から導入手法を検討する。

- (2) 再生可能エネルギーを有効活用した電動モビリティの導入及び電力融通モデルの検討
移動実態を考慮した運行ルート、地形条件下でも走行可能な車両性能、運行計画など具体的な運行条件を整理した上で、園内で発電した電気エネルギーを活用した移動手段（電動モビリティ）の導入可能性を検討する。

また、想定される運行条件下における電力需要の整理や、電力供給に必要な充電設備の規模や場所の検討のほか、電動モビリティを介した電力供給・融通システムの検討を行う。

- (3) 地産地消型公園の実現に向けた課題等の整理

上記結果を踏まえ、再生可能エネルギー設備の導入による効果を分析し、電気エネルギーの地産地消型公園の実現に至るまでの課題やロードマップを整理する。

4 成果品の提出

業務完了後、速やかに以下の書類等を提出する。

- (1) 報告書 2部
- (2) 電子データ一式（DVD） 1セット
- (3) その他発注者が必要と認めるもの

5 履行条件

- (1) 受注者は、業務の円滑な推進を図るために、業務を推進する上で豊富な経験、知識を有した技術者を配置し執行体制を充実させること。
- (2) 委託期間中は、随時、発注者と業務の進め方の協議、進捗状況の報告、資料等の確認を行うとともに、定期的に担当者と打合せを実施する。
- (3) 本業務における成果品は委託期間終了までに提出することとするが、令和6年10月末までに、その中間報告を行うものとする。
- (4) 本業務における成果品及びデータ等を含むあらゆる制作物の所有権は発注者に帰属する。ただし、受注者が本業務外で開発したシミュレーションソフト等の著作権は除く。
- (5) 本業務は、「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金」を受けて実施するものであり、当該補助事業の主旨を理解した上で業務を遂行することとする。また、受注者は、関係する書類等を業務が完了した年度の翌年度から起算して5年間は事務所に保存しておくこと。
- (6) 本仕様書に記載のない事項及び内容に関し疑義が生じた場合は、その都度速やかに発注者と協議を行い、その指示に従うこと。

